

作業学習学習指導案

令和3年10月 第1・2学年 指導者 森田 裕子 (T1) 他

1 単元名 ペットボトルリサイクルをしよう②

2 学習指導要領上の位置付け

職業・家庭科 職業分野

A 職業生活

ア 働くことの意義

- (ア) 働くことの目的などを知ること。
- (イ) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くこと。
- (ウ) 作業や実習等で達成感を得ること。

イ 職業

- (ア) 職業に関わる知識や技能について、次のとおりとする。
 - ㉞ 職業生活に必要な知識や技能について知ること。
 - ㉟ 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。
 - ㊱ 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ること。
 - ㊲ 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れること。
 - ㊳ 作業の持続性や巧緻性などを身に付けること。
- (イ) 職業に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。
 - ㉞ 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くこと。
 - ㉟ 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫すること。
 - ㊱ 職業生活に必要な健康管理について気付くこと。

なお、各生徒の個別の指導計画に基づき、各教科等の内容が含まれる。

3 目標

ペットボトルリサイクルの作業学習を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する

ア 用具の扱い方や自分が作業しやすい動きを知ることができる。

(知識及び技能)

イ 効率の良い作業について、よりよい方法を考えたり、工夫したりして作業に取り組むことができる。

(思考力、判断力、表現等)

ウ 自ら立てた目標を振り返り、改善しようとすることができる。

(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開 (7・8/16)

(1) ねらい

作業に取り組んでいる動画を高等特別支援学校の教師に見てもらうことを通して、生徒たちの作業に取り組む関心・意欲を高めるとともに、いただいたアドバイスを基に自分の作業をよりよくする方法について考え、実行することができるようにする。

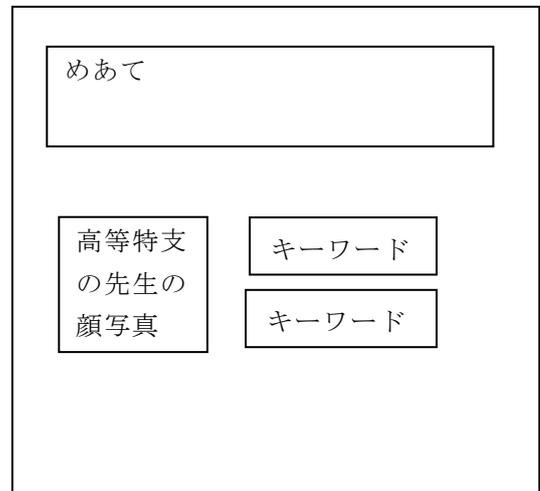
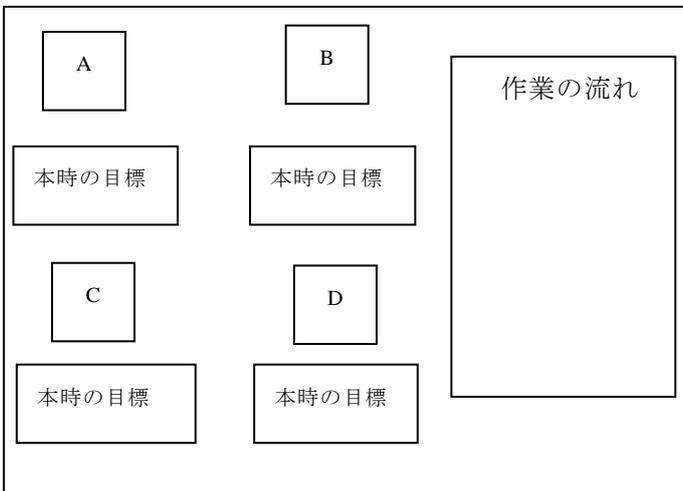
(2) 展開

<p>学習活動</p> <p>・予想される児童（生徒）の反応</p>	<p>時間</p>	<p>○指導上の留意点</p> <p>◎研究上の手立て</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価項目<方法（観点）></div> <p>〔記〕記録に残す評価</p>
<p>○作業に向けて体調を整えること</p> <p>・体を休めておこう。</p> <p>・トイレに行っておこう。</p>	<p>10分</p>	<p>○肢体不自由の生徒たちが作業の効率を高めるために必要な心と体の準備を行う時間を設ける。</p> <p>○それぞれの生徒の実態から、水分補給、排泄、身体の調子を整えるなど、チェック項目を設け、自ら本時の学習に向けての準備ができるようにする。</p>
<p>1 本時のめあてを知ること</p>	<p>15分</p>	<p>○前時に撮った動画を高等特別支援学校の先生に見てもらったことを伝え、コメントをもらったことを伝える。</p> <p>◎コメント動画を大型テレビに映しクラスで共有する。称賛してもらったこと、アドバイスしてもらったことなどを振り返りのキーワードとして抽出して文字や写真で提示する。</p>
<p>【めあて】 前時の作業の様子や高等特別支援学校の先生からのアドバイスを手掛かりに、よりよい作業について考えながら、作業をがんばろう。</p>		
<p>○ 前回の目標や振り返った内容を思い出し、本時の目標を決め、発表する。</p> <p>・前は○本できていたな。</p> <p>・前回よりもたくさんのペットボトルをリサイクルするぞ。</p> <p>・連絡、報告をがんばるぞ。</p> <p>・高等特別支援学校の先生が言っていたことをやってみよう。</p>		<p>◎前時の目標やワークシート等は教室内に残しておき、前時のことを思い出すように配慮する。本時の目標を立てる際の手掛かりになるようにする。</p> <p>◎筆記が難しい生徒にはICT端末のアプリを使って音声入力ができるようにする。</p> <p>○達成できるような目標であるか、簡単すぎないかなど個別に確認するようにし、適切な目標設定ができるように「前はどうかだったかな」等の言葉をかける。</p> <p>○目標達成のために、工夫点を考えることができる生徒には「どのようにするともっとよくなるかな」と言葉をかけ、生徒の自発的な考えを促すようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>前時の様子やアドバイスをもとに、作業をよりよくするために適切な目標を設定している。</p> <p style="text-align: center;"><言動(イ)〔記〕ワークシート></p> </div>
<p>2 めあてを追究する。</p> <p>(1)作業に必要な道具をそろえること</p> <p>・自分のロッカーから道具を持ってこよう。</p> <p>・混み合っているから、少し待とうかな。</p>	<p>5分</p>	<p>○自分のロッカーから作業に必要な道具を持ってくる際に、事前に「気を付けることはありますか」と問い掛け、自分たちで車椅子の動きが重なりぶつからないことに気付くようにする。</p> <p>○気を付けて持ってくる姿が見られた場合は「譲り合って持ってくることができましたね」と褒め</p>

<p>(2)15分間（前半）の作業にそれぞれが取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成できるようがんばろう。 ・自分で考えた工夫をやってみよう。 	15分	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態に合わせ、教師が介助しながら作業を行ったり、生徒の隣で作業を行ったりする。 ○ICT端末で作業の様子を録画し、授業の最後に振り返りができるようにする。 ○隣で作業をする教師は、生徒の様子を見守りながら作業ペースや連絡報告の見本となったり、生徒が分からなくなった際の参考になったりするようにする。
<p>(3)休憩をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疲れたな。少し休もう。 ・休憩時間中に前半の作業個数を書き留めておこう。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○休憩時間に前半の作業の振り返り（個数など）が簡単にできる生徒は、ワークシート等に記入するように言葉を掛ける。 ○個別に教師と前半の作業を簡単に振り返るようにし、後半の作業への意欲や見通しをもつようにする。 ○後半の作業に向けて、必要な片付けや準備があることに気付くように言葉を掛けたり、教師が実際に動作で手本を示したりする。
<p>(4)15分間（後半）の作業にそれぞれが取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成できるようがんばろう。 ・自分で考えた工夫をやってみよう。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の始めに立てたそれぞれの目標をもう一度全体で確認することで、後半の作業を行う意欲を高める。 ○前半の作業同様の支援を行うが、生徒の体の疲労具合によって、作業継続が難しい生徒は、自分の作業ビデオを振り返ったり、友達の作業の様子を見て工夫しているところがないかななどを教師と一緒に探したりする。（姿勢変換等も行う）
<p>(5)道具の片付けをすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・混み合っているから、少し待とう。 ・道具を落とさないように運ぼう。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のロッカーに道具を片付ける際に「どのようになるといいかな」と問い掛け、自発的に譲り合ったり、しっかりと道具を両手で持ったりすることができるようにする。 ○早く片付けができた生徒は、自分自身の振り返りを始めるように促す。
<p>(6)動画を見て、自分や友達の様子を振り返り、伝え合うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんは、ラベルはがしをがんばっていたよ。 ・仕事を丁寧に行っていたよ。 ・連絡・報告を大きな声でできていたよ。 ・目標の個数が達成できてよかった。 ・高等特別支援学校の先生のアドバイスをやってみたよ。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の始めに立てた目標を確認し、工夫できた所やがんばった所を肯定的に認めていくようにする。 ◎作業をよりよくするための工夫が見られるかどうかICT端末で撮影した動画を大型TVに映し、作業の様子を確認する。 ○言葉で伝えられる生徒は言葉で伝え、表出が難しい生徒は表情や視線で写真や静止画等を使って伝えるようにする。

		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返り活動において、動画や友達の意見を参考に次時に生かそうと発言したり、ワークシートに記入したりしている。 <言動・記述(イ)(ウ)〔記〕ワークシート></p> </div>
<p>3 本時のまとめをする。 本時のよりよい作業ができたところを称賛し、次時への見通しをもつこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回はもっとがんばるぞ。 ・今日は目標が達成できなかったから、 ・次回は達成できるようにがんばろう。 	<p>5 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい作業にするための工夫ができたことを称賛する。 ○本時の活動の様子も高等特別支援学校の先生に見てもらおうことを伝える。 ○生徒一人一人の取り組みを振り返り、次時の学習につながるように称賛する。

6 板書計画



(補助黒板)

指導計画 作業学習 第1・2学年 単元名「ペットボトルリサイクルをしよう②」(全16時間計画)

目標	ペットボトルリサイクルの作業学習を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 用具の扱い方や自分が作業しやすい動きを知ることができる。 (知識及び技能) イ 効率のよい作業について、よりよい方法を考えたり、工夫したりして作業に取り組むことができる。 (思考力、判断力、表現等) ウ 自ら立てた目標を振り返り、改善しようとするすることができる。 (学びに向かう力、人間性等)		
評価規準	(1) 作業に必要な用具の扱い方が分かり、自分の動きやすい動きで作業に取り組んでいる。 (2) 設定された時間内に、ペットボトルリサイクル作業の数量を増やしたり、正確に分別したりするために、よりよい方法を考えたり、工夫をしたりしている。 (3) 作業学習の成果を自分で、また友だちと互いに振り返り、次の作業に生かそうとしている。		
過程	時間	○ねらい 〇めあて	・振り返り (意識) 評価項目 <方法(観点)> [記] 記録に残す評価
つかむ	2	○よりよく作業をするための目標を立てながら、2学期の作業学習の見通しをもつようにする。 1学期よりも「よい作業」とはなんだろう？ キーワードを基に自分の目標を立てよう。	・個数を増やしたい。 ・丁寧に作業をしたい。 ・報告を大きな声でするようにがんばりたい。 ・キーワードを頼りに自分が目指す作業目標を立てることができている。 <言動・[記] ワークシート(1)(2)>
追究する	4	○自分で立てた目標や目標を達成するための工夫点を確認しながら、作業に取り組み、教師が振り返りの視点を伝えながら自分たちの作業の様子を動画で振り返ることを通して、どのようなところに注目すればよいかを知ることができるようにする。 自分の立てた目標を目指して作業をがんばろう。最後に動画を見て振り返ってみよう。	・個数を増えてきた。 ・かごの置き方を工夫していた。 ・ペットボトルをしっかり押さえると早くラベルが取れていた。 ・報告が大きな声でできていた。 ・教師が伝えた振り返りの視点を参考に、自分やお互いに振り返る方法や伝え方が分かり、相手に伝えることができています。 <言動・[記] ワークシート(2)(3)>
	4	○作業を行っている動画を高等特別支援学校の先生に見てもらおうことを通して、生徒たちの作業に取り組む意欲を高めるとともに、いただいたアドバイスを基に自分の作業をよりよくする方法について考え、実行することができるようにする。 前時の様子や高等特別支援学校の先生からのアドバイスを手掛かりに、よりよい作業について考えながら、作業をがんばろう。	・高等特別支援学校の先生に目標を達成できたことを伝えることができた。 ・高等特別支援学校の先生に褒めてもらえてうれしい。また、頑張ろう。 ・高等特別支援学校の先生からもらったアドバイスを次回に生かしたい。 ・友達に褒めてもらえたので、次回も頑張りたい。 ・前時の様子やアドバイスを基に、作業をよりよくするために適切な目標を設定している。 <言動・[記] ワークシート(2)> ・振り返り活動において、動画や友達の見解を参考に次時に生かそうと発言したり、ワークシートに記入したりしている。 <言動・[記] ワークシート(2)(3)>
	2	○導入での目標設定や前時の振り返りを想起させ、達成度の高い目標にすることを通して、今学期、積み重ねてきた学習のまとめとなるようにする。 これまでの作業学習を振り返り、よりよい作業について考え、作業をがんばろう。	・今までの中で一番多くペットボトルをリサイクルできた。 ・高等特別支援学校の先生から教えてもらった「姿勢を良くする」を実践したら、目標を達成することができた。 ・効率の良い作業に向けて、他者の意見を参考にしながら、工夫することができている。 <言動(1)(2)> ・頑張ったところを他者に伝えることができています。 <言動(3)>
		○ペットボトルの搬入に向けて、見通しをもちながら搬入の準備をすることができるようにする。 搬入に向けての準備をしよう。	・準備は、袋にマークを付いたり、ワゴン車に積んだりする仕事があったな。 ・前回のことを思い出しながら、搬入の準備を行っている。 <言動(1)(2)>
	3	○リサイクル工場への搬入作業を通して、作業学習への意欲向上を図り、自分たちの作業の様子を伝え、賞賛されたり、注意点を聴いたりすることを通して、自分たちの作業を振り返り、改善していこうとする気持ちを高める	・たくさん納品できた。また頑張りたい。 ・頑張りを褒めてもらえた。 ・分別をしっかりしてほしいと言われたので、きちんと ・自分のできる動きで、搬入作業を行うことができています。 <言動(1)(2)>

		<p>ようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>リサイクル工場へペットボトルの搬入に行こう。</p> </div>	分けたい。	<p>・作業の改善点について、知ることができている。 <言動(3)></p>
ま と め る	1	<p>○これまで撮りためた動画やワークシートを振り返る活動をしなが、今学期の作業学習をよりよくする工夫ができたかどうか確認することを通して、自分が行っている作業が人の役に立っていたり、将来の仕事につながっていたりすることを確認し、より自分ができることを増やしていこうという意欲につなげるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よりよい作業に向けて、工夫した点やがんばったことを振り返ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャップ外しが早くできるようになった。 ・アドバイスをもらったことを実践したら、個数が増えた。 	<p>・動画を見たりワークシートに具体的な工夫点を記入したりする活動などを通して、よりよくする工夫ができたかどうか、気づき、発表している。 <言動・[記]ワークシート(2)(3)></p>